

令和5年度 倉敷市地域福祉基金助成事業実施アンケート

助成期間: 5 年度～ 年度

団体名: 倉敷ワクワク食育の会

一年活動をしての感想

※参加者に喜んでもらったこと、地域福祉基金からの助成がこういったことに生きていることなどを自由に記載してください。

(記載例)

①実施した内容

- ・身体は食べ物で出来ていることを知って頂き、「食」は大事だということを感じてもらう。
- ・親子で一緒に料理をすることで、子供に「食」に興味をもってもらい、「生きる力」をつけてもらう。親子のコミュニケーションもとれ、自己肯定感に繋がった。
- ・食品の裏側(添加物、遺伝子組換え、etc.)を知ることで、食を選ぶ知恵をつける。
- ・東洋医学で食養生を学び、医者や薬に少しでも頼らなくてよい身体づくりを目指す。
- ・身体づくりを知ることで、子供から高齢者までどんな栄養が必要か、また不足しているか気付いて頂いた。

②参加者の感想

- ・知っていることもあったが、知らないことも多く、勉強になった。
- ・ごはんとお味噌汁がなぜ大事なのか分かった。子供の朝食はパンではなく、ごはんとお味噌汁を食べさせようと思う。
- ・野菜の旬がよく分かっていなかった。これからは季節に合った旬の野菜を食べようと思う。
- ・東洋医学を学んで、食養生で身体を元に戻せ、未然に予防できる方法があることを知り、家族に役立てようと思う。
- ・料理だけでなく、健康になる為の「足裏マッサージ」や「笑いヨガ」も体験出来、嬉しかった。

③地域福祉基金の有用性

- ・添加物の実験キットや、東洋医学に関する本などを購入する事が出来たので、これからも有意義に活用したいと思う。
- ・料理材料費、消耗品費、講師料などを負担して頂き、自己負担が少なく気軽に会に参加出来たし、また参加したいと思った。
- ・資料コピー代や、自宅での印刷などの消耗品を購入させて頂き助かった。ありがとうございました。

④今後の展開・夢・課題など

- ・今年度の事業をベースに、一人でも多くの親子さんが楽しく食育出来る会を続けていきたい。
- ・場所を変えて、新しい方々にも参加して頂ける機会を増やしていきたい。
- ・一人でも多くの方に、食の現状を知って頂き、自分や自分の家族の健康を守る知恵をお伝えする。料理を通して子供達には「生きる力」を、高齢者には「元気で長生き」する力をつけて頂く活動をします。

※このアンケートは、地域福祉基金の助成を受けたことのある団体から、事業開始後5か年度の期間提出していただくものです。